

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 株式会社エストアー 上場取引所 東
 コード番号 4304 URL https://Estore.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 石村 賢一
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 石川 修 TEL 03-3595-1106
 四半期報告書提出予定日 2021年2月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	7,766	114.4	657	73.9	924	106.2	580	80.6
2020年3月期第3四半期	3,622	△2.3	378	△3.8	448	△3.9	321	△3.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 585百万円 (82.2%) 2020年3月期第3四半期 321百万円 (△3.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	121.57	101.03
2020年3月期第3四半期	67.29	55.92

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	9,001	2,193	24.4
2020年3月期	7,375	1,746	23.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 2,193百万円 2020年3月期 1,746百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	29.00	29.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期（予想）				29.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	10,340	113.1	820	71.5	1,000	89.9	615	67.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2021年2月12日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	5,161,298株	2020年3月期	5,161,298株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	387,634株	2020年3月期	387,579株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	4,773,681株	2020年3月期3Q	4,773,933株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
(3) 財政状態に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(4~12月)は、売上高 7,766百万円(前年同期比 114.4%増、2.1倍)、営業利益 657百万円(同 73.9%増)、経常利益 924百万円(同 106.2%増、2.0倍)、親会社株主に帰属する四半期利益 580百万円(同 80.6%増)となりました。

増収増益の主な要因は、連結子会社が2社増加したほか(注)、グループ各社の事業が好調に推移したことによるものです。また、通期計画(期初予算)の進捗が順調に推移しているため、本日、業績予想の上方修正の開示をいたしました。(以下、「(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。)

当社グループの事業領域である国内B2C-EC市場は、年率 10%を超える高い成長率で推移しつつもEC化率は世界各国に比べまだまだ低く、また、当社の顧客対象である企業はDX化を積極的に推進しており、中長期的な成長が期待できる環境にあります。具体的には価格競争(安価)からの脱却が顧客企業にとっての経営課題としてあり、企業それぞれの価値観や世界観を表現できる自社のECサイト(自社本店サイト)の構築及び強化が持続的成長への鍵として期待されています。このような市場環境を追い風に、当社グループのサービス(ECシステム構築、決済機能提供、マーケティング支援)は旺盛な需要に恵まれている状況です。

さらに当連結会計年度は、コロナ禍に起因する社会的ニーズの変化を捉え、全体として業績への好影響を享受しました。サービス別には、業績悪化を余儀なくされた顧客もあり、マーケティング支援の営業に若干の逆風となる局面も見られましたが、ECシステム構築及び決済機能提供の営業は、企業のDX投資と生活者の巣ごもり消費の高まりを捉え、大幅な伸長を記録しました。

(参考) サービス別の売上高は以下のとおりです。

(単位: 百万円、%)

	前4~12月期	当4~12月期	増減率
ECシステム構築	1,439	2,923	+103.1%
決済機能提供	1,301	1,812	+39.3%
マーケティング支援	880	3,008	+241.5%

※当社グループの事業は単一セグメントです。上記区分は、当社ビジネスモデルをより理解いただくための参考数値として表示するものであります。また、会計監査の対象ではありません。

営業外損益につきましては、D2C事業を手掛ける関連会社が貢献し持分法による投資損益を 186百万円計上しました。

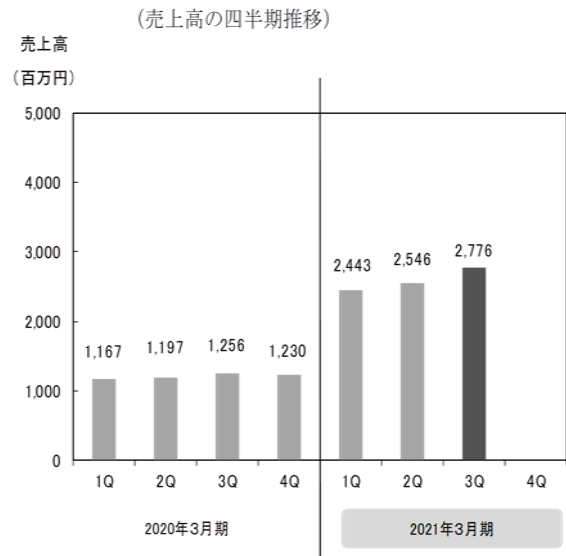
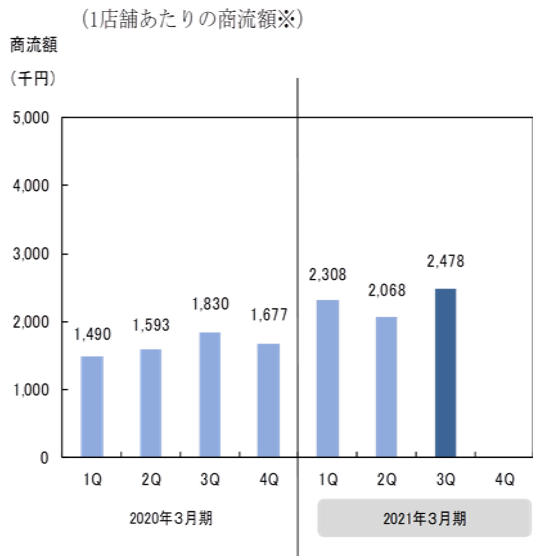
なお、当第3四半期連結累計期間は、連結経営の一環として子会社が事務所を移転いたしました。これにより移転前事務所の設備の廃棄及び原状回復費を特別損失として計上しております。

以上、連結経営のための統合コストやのれん償却費を吸収し、増収増益基調を実現できたことをご報告申し上げます。

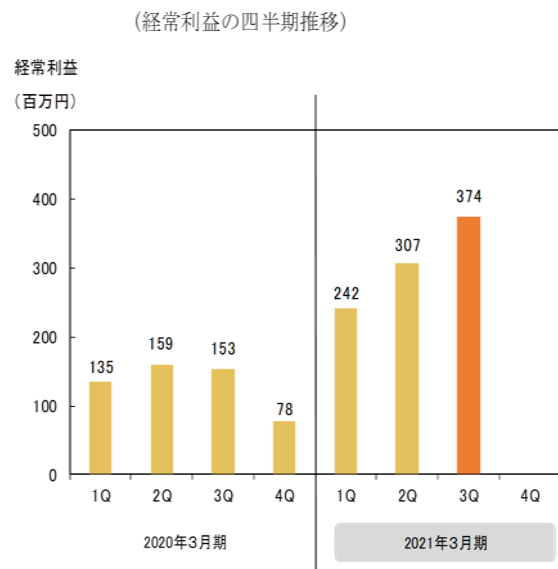
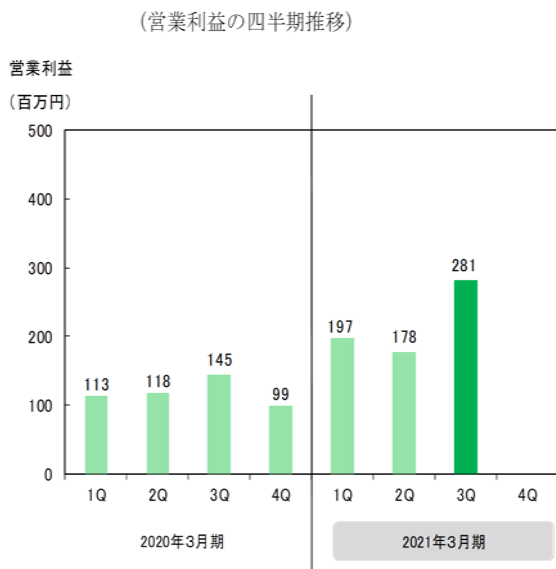
(注) 前連結会計年度末(2020年3月31日)をみなし取得日として連結の範囲に含めておりますが、損益の連結は当連結会計年度期首からになります。

(参考) 主な連結会社のサービス領域

	Eストアー	コマースニジュウイチ	ウェブクルーエージェンシー
ECシステム構築	●	●	
決済機能提供	●		
マーケティング支援	●		●



※比較可能性のためエストアーが提供するECシステム「ショップサーブ」を利用する店舗の商流額をベースとしています。コマースニジュウイチが提供する大型ECシステムの商流額は除いております。



(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日(2021年2月12日)、2021年3月期の通期連結業績予想を上方修正する開示をいたしました。「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想 (A) (2020年8月12日)	百万円 9,645	百万円 398	百万円 459	百万円 230
今回発表予想 (B)	10,340	820	1,000	615
増減額 (B-A)	695	422	541	385
増減率 (%)	7.2	106.0	117.9	167.4
(参考) 前期実績	4,852	478	526	367

期初予想では、通期の連結営業利益を398百万円と見込んでおりましたが、上記「(1)経営成績に関する説明」のとおり、計画を上回る推移となったため、この度予想を修正するに至りました。

2020年11月には当期を初年度とする中期経営計画を発表しました。その成長戦略の一つである「ハンズオンDX」の第一弾として、2021年1月に卓球界のリーディングカンパニーであるFPC株式会社と資本業務提携契約を締結しました。同社事業(スポーツ用品販売、選手マネジメント、大会運営など)に当社のECナレッジやノウハウを投入し共同展開いたします。

中期経営計画の最終年度(2025年3月期、2024年度)の連結営業利益20億円の達成に向けて全社一丸となって邁進してまいります。

(3) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、9,001百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は次のとおりです。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末比で1,625百万円増加し、9,001百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加1,577百万円、関係会社株式の増加181百万円によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末比で1,178百万円増加し、6,807百万円となりました。これは主に、預り金の増加1,340百万円、買掛金の減少193百万円によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末比で447百万円増加し、2,193百万円となりました。これは、2020年3月期の配当金支払138百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益として、580百万円を計上したことによります。これにより自己資本比率は24.4%(前連結会計年度末比0.7ポイント増)となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,288,953	4,866,692
売掛金	1,287,962	1,309,521
仕掛品	110,256	24,262
貯蔵品	15,706	15,295
暗号資産	11,015	49,059
その他	257,506	189,986
貸倒引当金	△1,175	△1,232
流動資産合計	4,970,225	6,453,586
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品（純額）	106,552	103,842
その他（純額）	156,123	223,582
有形固定資産合計	262,675	327,425
無形固定資産		
のれん	609,793	559,692
顧客関連資産	557,000	515,225
その他	130,903	114,768
無形固定資産合計	1,297,697	1,189,685
投資その他の資産		
投資有価証券	198,690	200,976
関係会社株式	202,363	383,751
敷金保証金	374,615	385,495
その他	85,079	76,394
貸倒引当金	△15,518	△15,518
投資その他の資産合計	845,230	1,031,098
固定資産合計	2,405,603	2,548,209
資産合計	7,375,828	9,001,796

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,016,490	823,172
1年内返済予定の長期借入金	130,008	163,332
未払金	110,775	106,976
未払法人税等	148,013	163,896
預り金	1,855,400	3,196,136
その他	277,641	289,622
流動負債合計	3,538,329	4,743,136
固定負債		
新株予約権付社債	999,600	999,600
資産除去債務	57,284	88,510
長期借入金	862,848	839,955
その他	171,156	136,650
固定負債合計	2,090,888	2,064,715
負債合計	5,629,218	6,807,852
純資産の部		
株主資本		
資本金	523,328	523,328
利益剰余金	1,548,009	1,989,905
自己株式	△324,444	△324,519
株主資本合計	1,746,893	2,188,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△283	5,229
その他の包括利益累計額合計	△283	5,229
純資産合計	1,746,610	2,193,944
負債純資産合計	7,375,828	9,001,796

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	3,622,071	7,766,695
売上原価	2,483,532	5,913,741
売上総利益	1,138,538	1,852,953
販売費及び一般管理費	760,458	1,195,484
営業利益	378,080	657,469
営業外収益		
受取利息	3	5
投資有価証券売却益	-	62,723
持分法による投資利益	60,180	186,591
暗号資産評価益	5,600	38,064
雑収入	5,386	7,745
営業外収益合計	71,170	295,131
営業外費用		
支払利息	-	5,431
リース解約損	-	17,756
為替差損	271	300
雑損失	811	5,015
営業外費用合計	1,082	28,504
経常利益	448,168	924,096
特別損失		
減損損失	-	130,622
特別損失合計	-	130,622
税金等調整前四半期純利益	448,168	793,473
法人税、住民税及び事業税	123,027	232,808
法人税等調整額	3,890	△19,668
法人税等合計	126,917	213,140
四半期純利益	321,250	580,333
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	321,250	580,333

（四半期連結包括利益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
四半期純利益	321,250	580,333
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	308	5,512
その他の包括利益合計	308	5,512
四半期包括利益	321,559	585,846
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	321,559	585,846
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社グループは、単一セグメントであるため、記載を省略しています。

（重要な後発事象）

新株予約権の行使による増資

2021年2月2日付で、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の一部が権利行使されました。当該権利行使の概要は、以下のとおりです。

第1回無担保転換社債型新株予約権付社債

(1) 行使新株予約権個数		12個
(2) 発行した株式の種類及び株式の数	普通株式	237,669株
(3) 転換価額の総額		244,800千円
(4) 資本金増加額		122,400千円
(5) 資本準備金増加額		122,400千円

以上の新株予約権の行使による新株発行の結果、2021年2月15日現在、発行済株式総数（普通株式）は5,398,967株となり、資本金は645,728千円、資本準備金は122,400千円となっています。